

QQポール 錆発生ポールへの施工検証について (1/3)

謹啓、時下益々ご清祥の段大慶に存じ上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

早速ではございますが、首記の件に関し、以下にご報告申し上げます。

ご理解、ご了承賜りまして、ご査収の程よろしくお願ひ申し上げます。

謹言

— 記 —

1. 実施内容

既設ポールが錆びている事を想定して、既設ポールに相当する鋼管が錆がある場合と、無い場合のQQポール（試験用で短いポール）を建柱し載荷試験を実施した。

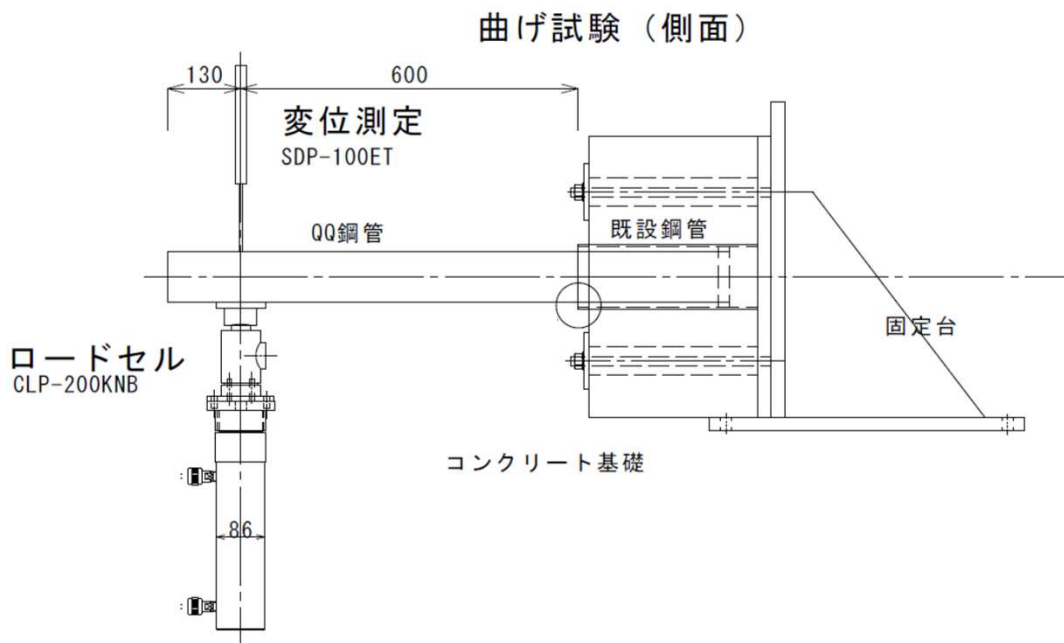


図1 試験実施図

## QQポール 錆発生ポールへの施工検証について (2/3)

### 2. 試験内容

- ① 載荷荷重 : ロードセルで計測
- ② たわみ量 (載荷点の変位) : 変位計で計測

#### 2-1. 被試験体 (錆発生ポール) 写真



写真1 ポール外面の錆状態



写真2 ポール内面の錆状態

#### 2-2. 試験実施状況写真



写真3 試験体  
(奥錆あり、手前錆なし)



写真4 載荷試験実施状況

### 3. 試験結果

地際部の曲げモーメントとたわみの関係を図2に示す。

錆の有無にかかわらず、差は認められなかった。

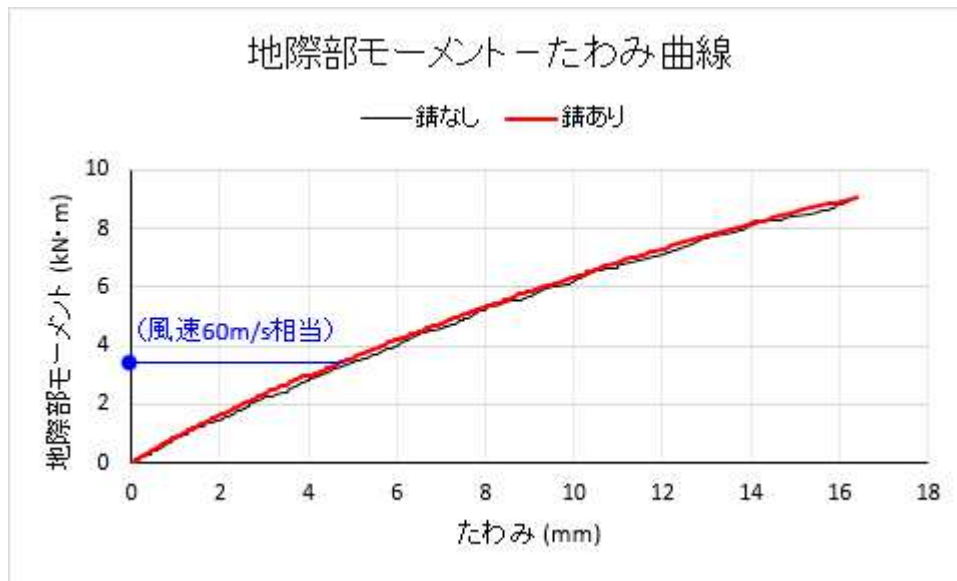


図2 載荷荷重とたわみの関係

### 4. 結論

QQポール施工後の強度は、錆の有無による違いはありません。

写真のような錆の状態（減肉していないもの）へ施工した場合の強度は確保できますが、既設ポールに穴が開いてるものや減肉しているものについては強度確認を現在行っており、別途お問い合わせください。